

フレンドシップ通信 136号

58期

発行日：2025.6.25

発行者：総務 松本



朝起きて…いよいよ来週あたりから”梅雨入り”かなあ～なんて考えながら。。スマホのニュースをみると『訃報』が目飛び込んできた！！

フ口野球巨人の選手・監督として偉大な足跡を残し「ミスターフ口野球」と呼ばれた長嶋茂雄（ながしま・しげお）さんが 3日午前6時39分 肺炎のため死去されたという内容だった。。。

私自身は 特別にフ口野球が好きだとか お気に入りの球団を晶屑にして 応援しているとかではなくて…何となくテレビで放映されていれば観るくらいの興味しかない人ですが その私でも 長嶋さんは知っている !!

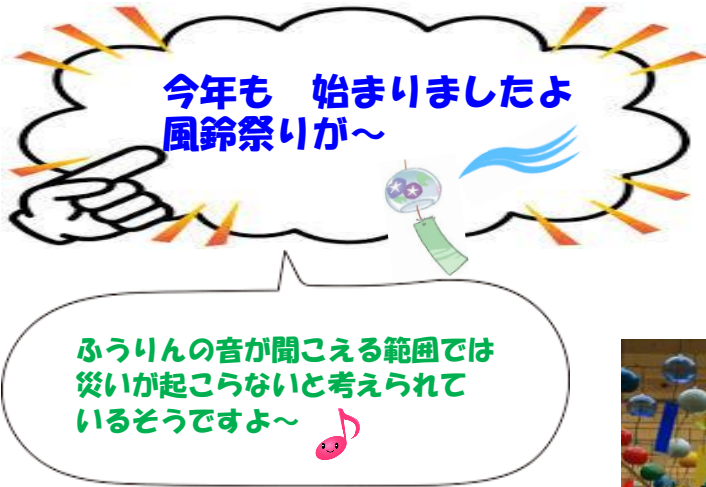
天性の明るさと華やかなフーリー 一言一句が面白い上に味わい深くて コミカルでダンディー・・・その存在が 高度経済成長期の国民に希望を与えたのだという 1950年代後半の（私もまだ生まれてないわ） 芸能雑誌・女性誌・・・『平凡』『明星』などに頻繁に登場するのは 石原裕次郎と美空ひばりさんだ そしてスポーツ選手のトップスターは紛れもなく長嶋さんだった この3人を出しておけば 雑誌もよく売れたというからすごい！ まさに時代の寵児（ちょうじ）達だったのですね

今年は…昭和元年から数えて ちょうど”100年目の年”に当たります その節目の年として いろいろ話題にもあがって 日本が歩んできた 歴史を振り返るイベント等もありました！！

1926年12月25日に昭和がスタートし その後…世界大戦へと向かっていき開戦 昭和20年に原爆投下と敗戦を経験しました 終戦までの20年間は 世界恐慌と戦争によって大きく社会が変化し・・・日本の歴史の中でも特に激動の時代でした そこから・・・目覚ましい復興を果たし 世界有数の経済大国にまで上り詰めました

戦争を知らない 私達世代にすれば。。。おばあちゃんから聞いた話・テレビで放映されて見た世界でしかありませんが…その時代を生き抜いてこられた方々には 言い尽くせない苦労があったのだと思います

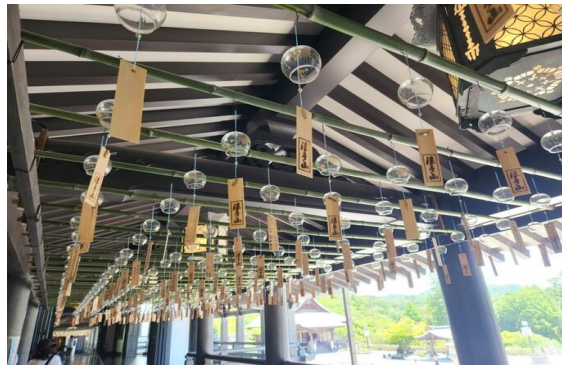
そんな激動の時代 「今のようにいろいろな娯楽などない毎日に」 夢や生きる希望を与えた 昭和のスター達がどれほど貴重な存在だったかは イヤでも想像ができます 時代を彩った巨星の死に。。。一つの時代の終わりを感じ 言い知れぬ寂しさも覚えた私です



昨年に続き…今年も開催されました（法多山・油山寺・可睡斎）風鈴祭り！
うだるような暑さが続く中 風に乗って聞こえてくる風鈴の音色・・・心を和ませてくれますよね
そんな夏の風物詩の風鈴の起源は 中国の唐時代です 現在よく見かける爽やかな色彩もようのガラス製ではなく。。。風鐸（ふうたく）と呼ばれ青銅で作られていたそうです！！
その風鐸が 仏教と共に日本に伝来し…当時はお寺の軒の四隅に「魔除け」として吊るされていました
平安時代になり貴族が 魔除けとして使うようになったのが “風鈴” のはじまりだと言われています
その後 江戸時代に入ってガラス工芸が盛んになり 現在一般的に見られる ガラス製の風鈴が急速に広がったのだと考えられています



花より団子の方には
こちらの限定
スイーツを
おすすめします



冷やし緑茶甘酒/油山寺

水無月ぜんざい/可睡斎



厄除水/法多山

？ 知っていますか？

最近 よく”マダニ”により死亡したニュースを耳にします マダニの中に…SFTSウィルスを保有しているものがいて そのマダニに咬まれると発熱・嘔吐・下痢などの症状が出て 重症化すると…意識障害や死亡に至ります！ 野外作業や公園の茂みなどでも注意が必要です 咬まれた時は決して自分では取らないで 医療機関に受診をするようにして下さい

注意